

沖縄平和行進参加報告書

東北地方青年婦人部 副部長小國巧美

5月17日から四日間の日程で東北地方からは15名で沖縄平和行進に参加しました。今回は例年よりも一日短い日程で行われました。

今回の三単産平和行進参加者は全国から約100名が集結しました。平和行進では南ウイングコースの先頭を任されることになり、全港湾らしい平和を願う力強いシュプレヒコールで平和行進団を鼓舞し、宜野湾市役所から県民大会の会場になる宜野湾市立グラウンドを目指して完歩しました。視察では旧海軍豪、ひめゆり資料館、平和記念公園、嘉数高台公園、嘉手納道の駅、辺野古新基地建設現場を見て回りました。今も残る生々しい戦争の傷跡や資料館を見学して戦争で奪われるもの失うもの大きさについて考えました。戦争が私達にもたらすのは憎しみや凄惨な状況だけだと思います。戦争は絶対に起こしてはいけないと思いました。また、住宅地の中にある基地も常に危険と隣り合わせで安心して生活できないと感じました。一度造られてしまえば基地を無くすことは簡単ではないですが、当たり前で基地のある環境を造らせないためにも一人一人が声を上げ反対を訴え続けることが大事だと思います。

私の中で沖縄の地を実際に歩いたこと、県民集会の参加や視察を通して見て聴いたことは戦争や基地問題について考える上でとても大切なものだと思います。今後も沖縄平和行進により多くの参加希望者を募っていけるように今回参加して得たこと感じたことを地方支部に持ち帰り今後の活動に活かしたいと思います。